

経営方針2 施策2 行政資源をより一層効果的・効率的に活用する<37>

指標名	指標の説明(出典)	現状値	目標値(平成27年)
① 経常収支比率【%】	経常収支比率は、地方自治体の財政構造の弾力性を判断する指標であり、この比率が高くなるほど財政が硬直化しているとされる	97.6% (平成21年度)	95.0% H22 92.5% H23 92.5%
② 倉吉市では税金が効果的・効率的に使われていると思う市民の割合【%】	同左 市民意識調査(問49)		↑ 1+2 3+4 5 H23 19.7% 28.9%51.4% H24 18.5% 28.1%53.5%
③ 市民による事務事業評価の累計数【事業】	倉吉まちづくり評価で点検していただく事務事業の累計数	10 事業 (平成22年度) ※単年実績	85 事業 (累計)

市民意識調査(問49)

「倉吉市では、総合計画に基づいてまちづくりを進めていますが、その目標を達成するために予算(市税、地方交付税、国県支出金など)が効果的・効率的に使われていると思いますか」

1 そう思う 2 どちらかというと思う 3 どちらかというと思わない 4 そう思わない 5 わからない

経営方針3 施策5 安定的に自主財源を確保する<40>

指標名	指標の説明(出典)	現状値	目標値(平成27年)
① 財政調整基金及び減債基金の保有額【億円】	・財政調整基金とは、地方自治体が予期しない収入減や不時の支出増に備えて積み立てておく資金 ・減債基金とは、市債の償還財源を確保し、財政の健全な運営に資するための資金を積立てることを目的に設置された基金	9.0 億円 (平成21年度)	20.0 億円 H22 14.3億円 H23 19.0億円 H24 20.6億円 H25 17.2億円 (25年度は予定)
② 実質公債費比率【%】	収入規模に対する借金返済額の割合であり、18%を超えると起債に県の許可が必要となる	20.0% (平成19~21年度 3ヶ年平均)	18.0%未満 (平成25~27年度 3ヶ年平均)
③ 市税の収納率【%】	同左	92.0% (平成21年度)	93.0% H22 92.28% H23 92.89%